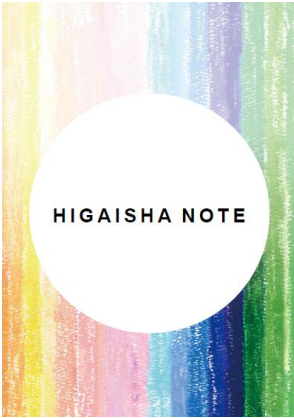



様式 3

概要報告書

事業種別	広域安全事業
団体名	途切れない支援を被害者と考える会
事業名	犯罪被害者向けノート作成プロジェクト
<p>犯罪被害者等基本法が出来てから、警察や検察、裁判所、地方自治体など様々なところで、支援が始まった。しかし、このあちこちで始まった支援は、ぶつぶつと途切れ、被害者はぼろぼろになりながら自分で支援してくれそうなところを訪ね歩いている。私たちは、このような現状を少しでも解決するため、2008 年から、「途切れない支援」について考える勉強会を開いてきた。そのつながりの中で、被害者が自分の置かれた状況を理解したり、書き込んでいけるノートを作ろうという声があり、2014 年の春からノートの検討会を始めた。殺人のご遺族、交通犯罪被害のご遺族、ご家族、強姦致傷の方、ストーカー、デート DV 事件の方、子どもの頃の性虐待の方などにお声を掛け、元の勉強会メンバーも加わった。</p> <p>特長としては枠外にメンバーで考えた暖かいコメントや、大学生に依頼して描いて貰った温かいタッチのイラストを載せたり、字を大きく、色分けなども使って、出来るだけ見やすい構成にしたことが挙げられる。また、コピーしていただくページがあるため、コピーしやすいリングノート式にしてある。</p> <p>ノートは各地の新聞に取り上げられたこともあり、被害当事者の他、県警、被害者支援センター、法テラス、法律事務所などからも反響が大きく、多数の申込みがあった。</p>	
 	

注) 上記の報告書は、助成対象団体が作成した報告書です。(公財)日工組社会安全財団では、記載された事業の内容等に関するお問合せには対応できませんのでご了承ください。